

## 山形県地域 営農法人協 開沼前会長に感謝状

山形県地域営農法人協  
議会は2月下旬、山形市  
の協同の杜J.A研修所で  
開いた第2回通常総会の

後、初代会長を務めた農  
事組合法人・村木沢あじ  
さい営農組合(山形市)  
代表の開沼雅義氏(71)

に感謝状を贈呈した。  
開沼氏は、2016年  
3月の協議会設立時  
から2年間、会長を務め、草



佐藤会長から感謝状を受け取る開沼氏(左)

創期の事業運営にリーダー  
シップを発揮した。総  
会後の役員会で顧問に就  
任した。

置くことにし、4人に増  
やした。

佐藤勝良会長から感謝  
状を贈られた開沼氏は  
「農業は、利益を追求す  
る産業政策ももちろん大  
事だが、地域政策の視点  
も欠かせない。地域に住  
みながら農業を営み、地  
域に農地が守られてこそ  
農業は持続可能となる。

これからも地域に根差す  
協議会の発展に微力を尽  
くしたい」と述べた。

協議会加盟団体は、当  
初の98から141法人・  
組織が増え、経営面積は  
合計約8000畝。

地域に視座を置く活動  
は広く認知されるよう  
なり、県農業再生協議会  
や県米政策推進会議な  
ど、県や関係機関の会議  
体からの委員などの委嘱  
数は19に及び、存在感と  
発言力が増している。

これら活動の高まりを  
踏まえ、協議会では副会  
長を県の総合支庁ごとに